第52回九州山口医科学生体育大会の進捗状況

第52回九山医体評議委員長 十 持 早 希 (3年次)

第52回九州山口医科学生体育大会の評議委員長を務めております、琉球大学医学部医学科3年の土持早希と申します。今回はこの紙面をお借りして第52回九州山口医科学生体育大会の進捗状況を報告したいと思います。

第52回九山は琉球大学を総合主管として平成25年3月から5月にかけて開催されます。21競技中、バスケットボール、バレーボール、卓球、バドミントン、準硬式野球、ラグビー、サッカー、硬式テニス、空手、弓道の10競技が沖縄県で開催され、ボートセイリング、剣道、柔道、ソフトテニス、水泳、ボート、軽音楽、陸上、ゴルフ、ソフトボール、フットサルの11競技は他大学に移管します。

沖縄で開催する10競技の会場の予約に関しては、 平成25年度の予約の確定が2月であり競技場の優 先使用の便宜は図れないとのことで、会場の確保 に難航しておりましたが、琉球大学医学科同窓会 の皆様、沖縄県医師会の皆様のご協力により、沖縄 県コンベンションビューロー、沖縄県文化観光ス ポーツ部をはじめとする関係各所に働きかけてい ただき、競技会場確保に明るい見通しができたと いう状況です。各競技の競技責任者を中心に市町 村、体育協会、教育委員会などに対して大会の趣旨、 概要を説明し協力を仰ぐ作業を進めており、11月

中に会場及び日程が決定する予定です。全競技の日程が決定しましたらこの紙面をお借りして皆様に報告しますので、ぜひ足を運んでみて下さい。

大会中の怪我、熱射病等に対処するため各競技会場に医師を1名ずつ派遣する必要があります。その際に同窓会の先輩方の協力が必要になると考えております。拘束時間、謝礼等の詳細は各競技の安全対策委員から改めてお伝えすることになります。

ご協力のほどよろしくお願い致します。

簡単ではありますが、以上が現在の状況です。 九山は九州・山口地区の医学生にとって西医体に つぐ大きな大会であり1年の目標として日々の練 習の成果を発揮する場であると同時に他校の医学 生と交流できる数少ない機会です。 先日第1回評 議会が行われ、九山運営委員会を構成する琉球大 学の学生、21競技の競技責任者、参加大学12校か ら2名ずつ選出される評議委員の計約50人が参加 しました。評議会では出場選手の資格審査や予算 案の作成、保険やエントリーや宿泊などについて の説明を行いました。評議会の翌日、ビーチパー ティーを行い、大会を運営するメンバーの親睦を 深めました。写真はそのときのものです。九山に 参加する大学は全部で12校、つまり総合主管校を 務めるのは12年に一度の機会です。私自身が九山 運営の代表的な役割を務められるのは非常にあり がたいことであり、九山の運営に携わる運営委員、 競技責任者、評議委員の皆と協力しながら楽しく 頑張って行きたいと思います。

最後になりましたが、同窓会の皆様には温かい 目で私たちを見守ってくださることを心から願っ ています。どうかご協力のほどよろしくお願いし ます。

